

一般国道4号 栃木県矢板市やいた～那須塩原市なすしおばら間

計画段階評価

第1回 説明資料の修正

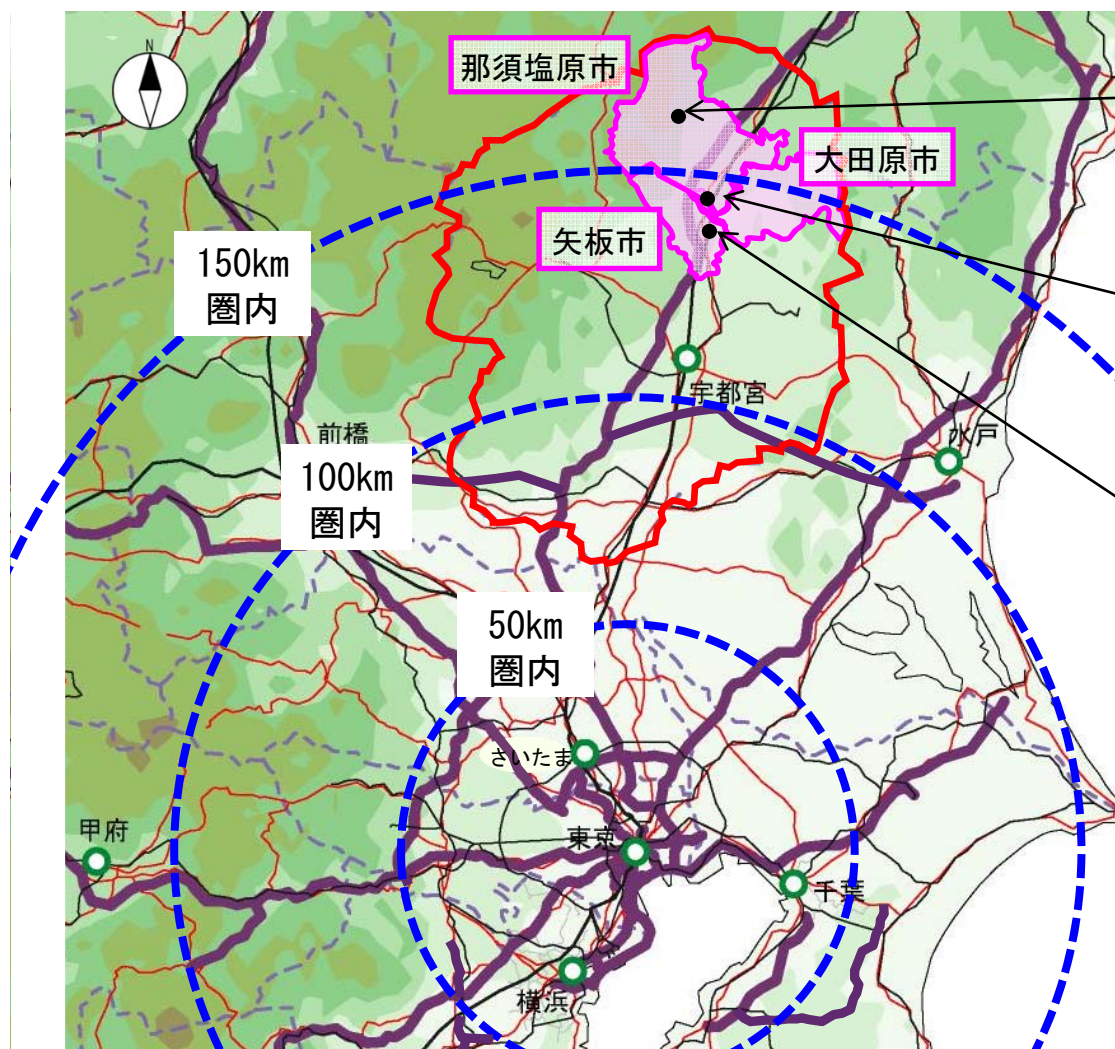
1. 地域の状況	・ ・ ・ 1
2. 一般国道4号の状況	・ ・ ・ 2
3. 道路交通の状況と課題	・ ・ ・ 4
4. 地域の状況と課題	・ ・ ・ 10
5. 現況と課題のまとめ	・ ・ ・ 13
6. 地域に配慮すべき事項	・ ・ ・ 14
7. 政策目標の素案	・ ・ ・ 15
8. 政策目標の素案と地域の将来像との整合	・ ・ ・ 16
9. 政策目標の案	・ ・ ・ 17
10. 地域からの意見聴取方法	・ ・ ・ 18
11. 今後の計画段階評価手続きの進め方（案）	・ ・ ・ 24

平成25年11月15日 関東地方整備局

1. 地域の状況

1

- ^{とちぎ}栃木県^{やいた}矢板市と^{おおたわら}大田原市、^{なすしおばら}那須塩原市は^{とうきょう}東京都心から130～150kmに位置し、人口は3市合計約23万人。
- ^{やいた}矢板市は、肥沃な大地と豊かな水資源を利用した稲作が盛ん。工業においては**国内有数の大手電機企業**が立地。
- ^{おおたわら}大田原市は、**田園工業都市**として発展。首都圏の**農産物の一大生産地**でもあり、野菜の栽培、和牛や乳牛の飼育が盛ん。
- ^{なすしおばら}那須塩原市は、市の面積の半分を自然豊かな山岳部が占めており、**生乳の粗生産額は本州第1位**(全国第4位)。



・^{なす}那須高原の畜産(^{なすしおばら}那須塩原市)



・^{のさき}野崎工業団地(^{おおたわら}大田原市)



・^{やいた}矢板工業団地(^{やいた}矢板市)



※資料:第2次 21世紀矢板市総合計画

	やいた 矢板市	おおたわら 大田原市	なすしおばら 那須塩原市	3市合計
・人口	3.5万人 (1.2万世帯)	7.8万人 (2.8万世帯)	11.8万人 (4.5万世帯)	23.1万人 (8.5万世帯)
・面積	170.66km ²	354.12km ²	592.82km ²	1,117.60km ²
・人口密度	207人/km ²	220人/km ²	199人/km ²	207人/km ²
・可住地面積	72.56km ²	200.42km ²	213.93km ²	486.91km ²
・高齢化率	23.1%	21.4%	19.7%	20.8%

※資料:・面積:各市ホームページ

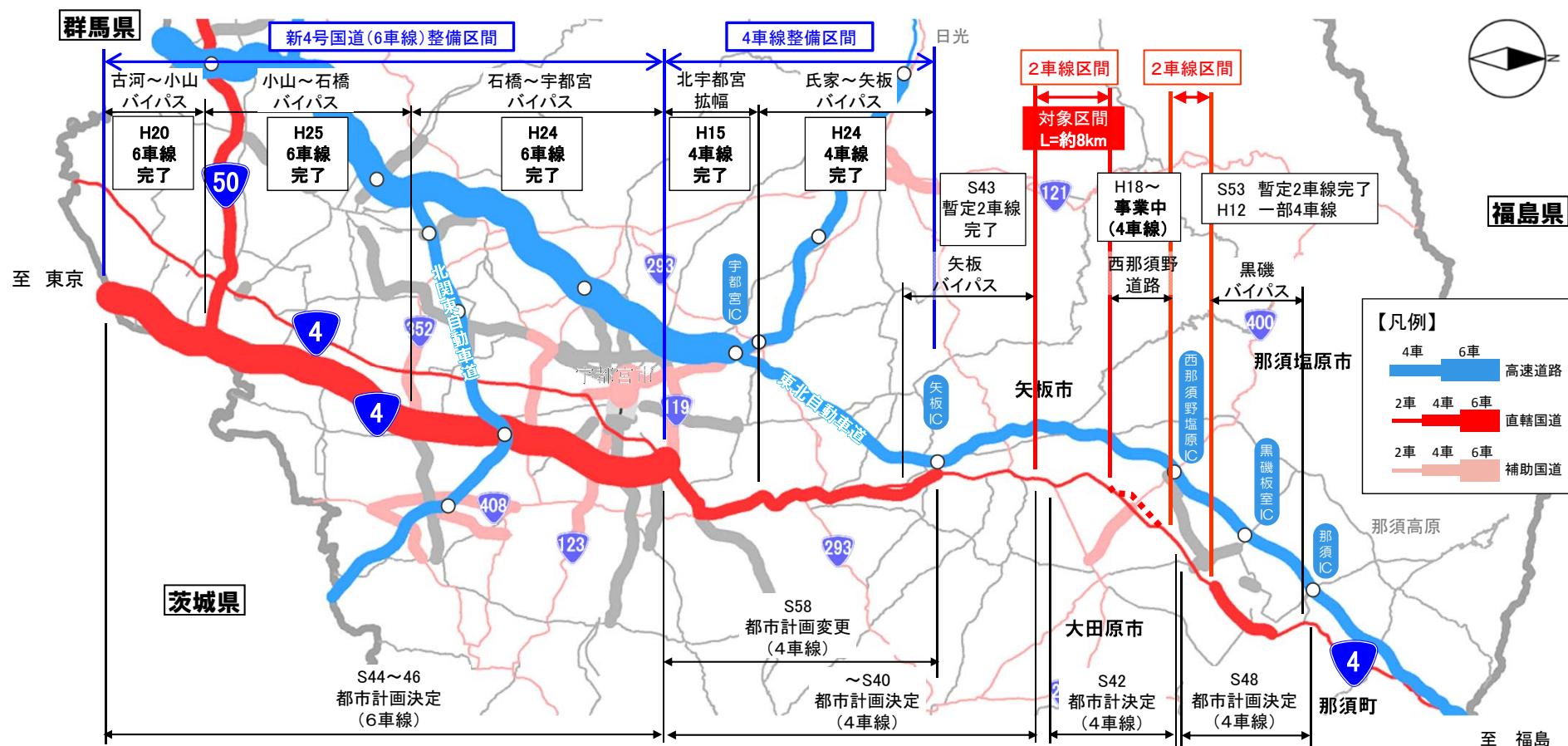
・可住地面積:統計でみる市区町村のすがた2012

・その他:H22国勢調査

2. 一般国道4号の状況（整備経緯）

2

- 〇栃木県内の一般国道4号は昭和40年代に交通需要を勘案しつつ、宇都宮市以南は市街地が連なるため大規模バイパスで別線6車線、以北は現道改良とバイパスにより4車線を確保することを都市計画決定。
- 〇以南は平成25年4月に6車線整備が完了し、以北は市街地部で交通課題の大きな箇所から順次着手し、現在は西那須野道路の整備を実施中。
- 〇残る区間のうち、未改良区間が残存し、他の区間より道路幅員が狭く、課題が大きい矢板市～那須塩原市間を計画段階評価対象区間に設定。



2. 一般国道4号の状況（栃木県北地域〈対象区間〉の道路現況）

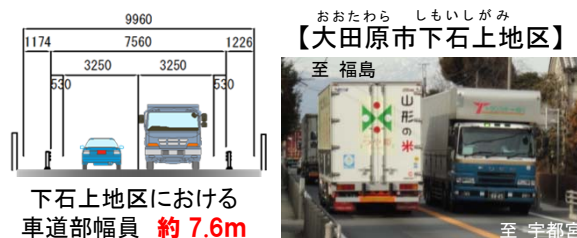
3

野崎橋近隣に箒川を渡河する
一般道の緊急輸送道路がない

一次緊急輸送道路に指定されている
一般国道4号の箒川渡河部（野崎橋）
において、近くの一般道で三次緊急輸
送道路に指定されている県道矢板那須
線（堰場橋）まで約12km、県道大田原
氏家線（岩井橋）まで約6km離れている。

道路幅員が狭い

沿道に住宅が立ち並ぶ大田原市
下石上地区では、道路幅員が狭い。



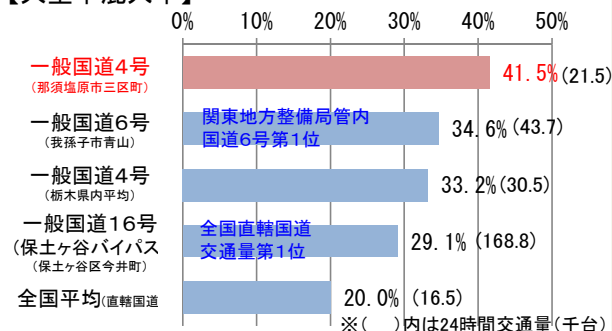
大型車が多い

県北地域の一般国道4号は、大型
車交通量が多く、関東～東北の通過
交通が多い。

【野崎橋付近】

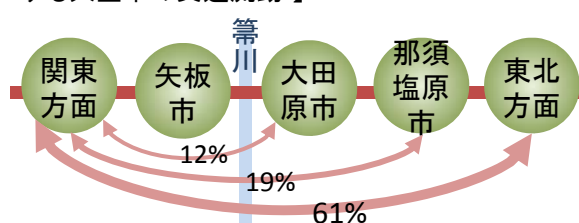


【大型車混入率】



※資料：平成22年度道路交通センサス（大型車混入率：24時間）

【一般国道4号を含む一般道の箒川渡河部を通過
する大型車の交通流動*】



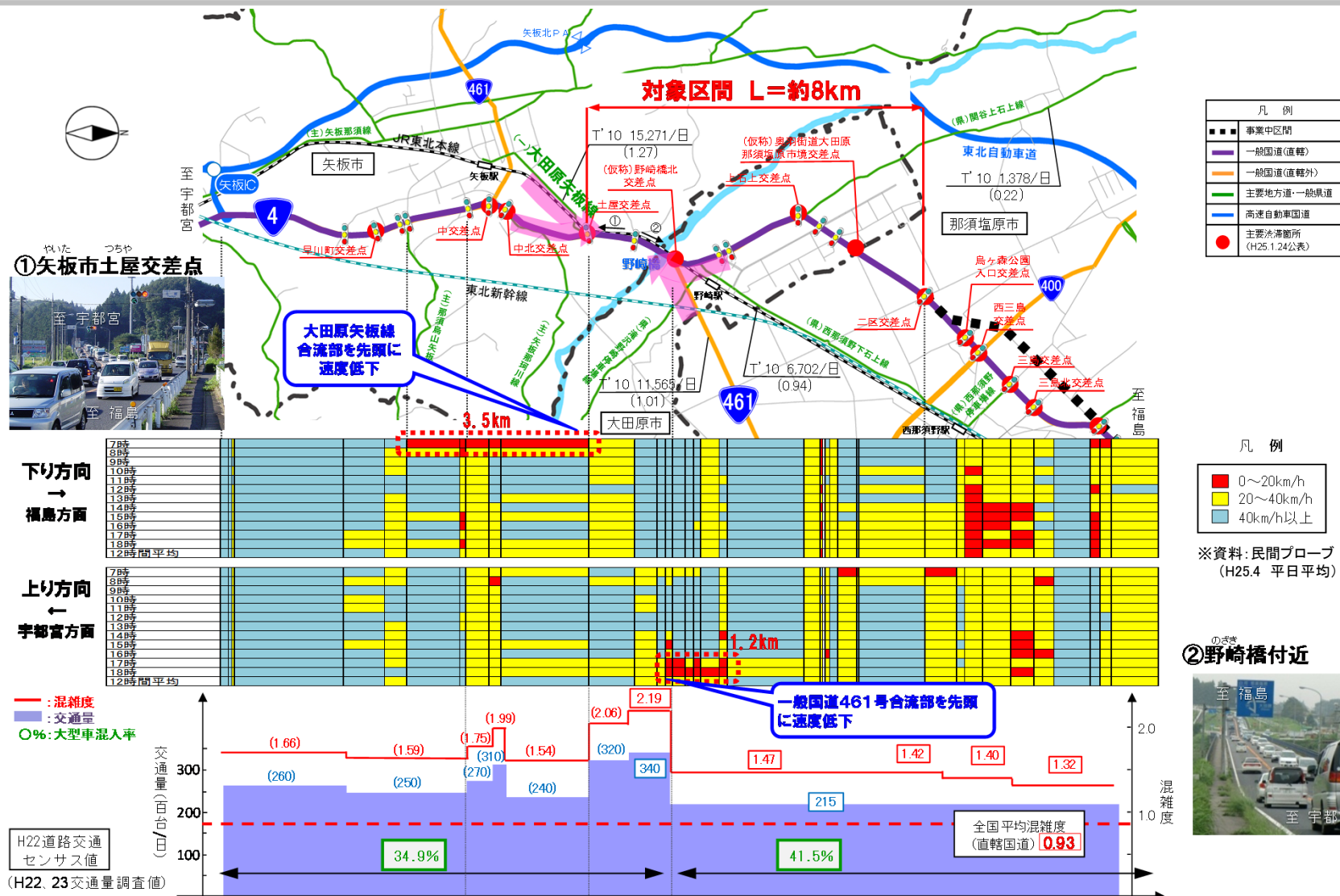
*平成17年度道路交通センサスODを集計（台/日）

* 10%以上の交通流動のみ表示

3. 道路交通の状況と課題 (交通量・旅行速度)

4

- ^{のさき}野崎橋前後の交差点では、交通の集中により、朝夕の通勤時間帯に速度低下が発生。
- 下り線では、朝ピーク時に^{おたわらい}大田原矢板線との合流部を先頭に^{なかみなみ}中南交差点付近まで約3.5km、上り線では、夕方ピーク時に一般国道 461号との合流部を先頭に約1.2kmの速度低下が発生している。
- 混雑度は直轄国道の全国平均に比べ高く、特に^{のさき}野崎橋では混雑度が2.19と全国平均の約2倍。

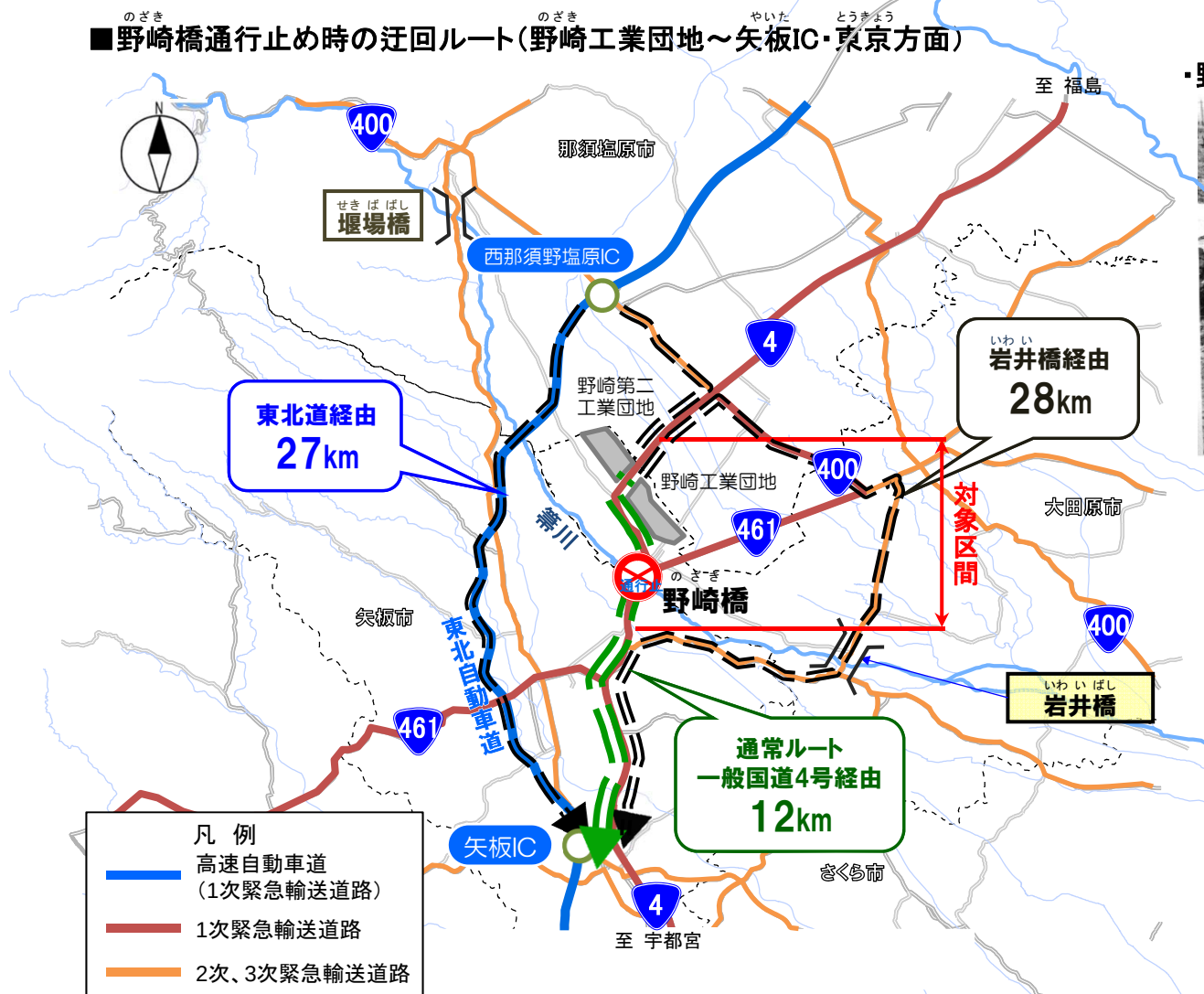


3. 道路交通の状況と課題 (リダンダンシー<一般国道4号>)

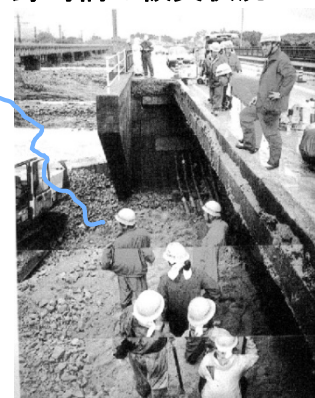
5

- 一般国道4号は平成10年8月の栃木県北部の大雨災害により、**野崎橋**では5日間の通行止めが発生し、緊急輸送道路が寸断。
- 近隣には代替路となりうる緊急輸送道路がなく、通行止めとなった場合、**広域な迂回**が生じる。

■野崎橋通行止め時の迂回ルート(野崎工業団地～矢板IC・東京方面)



・野崎橋の被災状況 (平成10年8月豪雨)



- ・ブロック積護岸洗掘
- ・橋台巻込部ブロック積崩壊
- ・歩道流出



5日間全面通行止め

野崎工業団地～矢板IC

通常ルート 一般国道4号 経由	12km	21分	迂回した場合
東北道経由	27km (+15km)	30分 (+9分)	
岩井橋経由	28km (+16km)	48分 (+27分)	
通常ルート 一般国道4号 経由	12km	21分	

※資料:平成22年度道路交通センサス
※混雑時旅行速度より算出

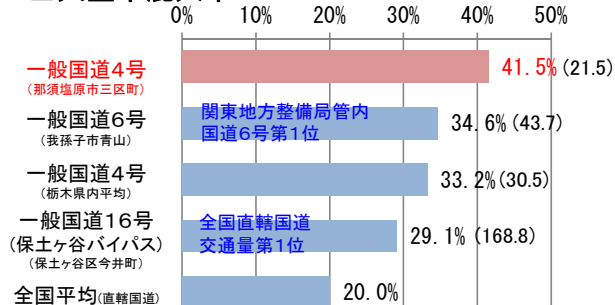
3. 道路交通の状況と課題（沿道環境）

7

- 対象区間の^{おおたわら}**大田原市**^{しもいしがみ}**下石上地区**は、道路幅員が狭く沿道には住宅が立ち並び、騒音レベルは**昼間76dB、夜間77dB**と**昼・夜間ともに環境基準値を超過**。さらに**要請限度も超過**。
- 騒音レベルは**昼・夜間ともに^{とちぎ}栃木県内の直轄国道でワースト1位**。
- 大型車混入率(41.5%)**は、全国平均(直轄国道)の約2.1倍、一般国道4号平均(^{とちぎ}栃木県内)の約1.3倍。
- 排気ガスやエンジン音などによる**健康被害なども心配**との声がある。



■大型車混入率



※資料: 平成22年度道路交通センサス(大型車混入率; 24時間)

①下石上地区に立ち並ぶ住宅



②夜間の国道4号の交通状況



【地域住民の声】

- ・大型自動車等の排気ガスやエンジン音などによる住民の**健康被害なども心配**。

H20.11
関係市地域住民による要望書

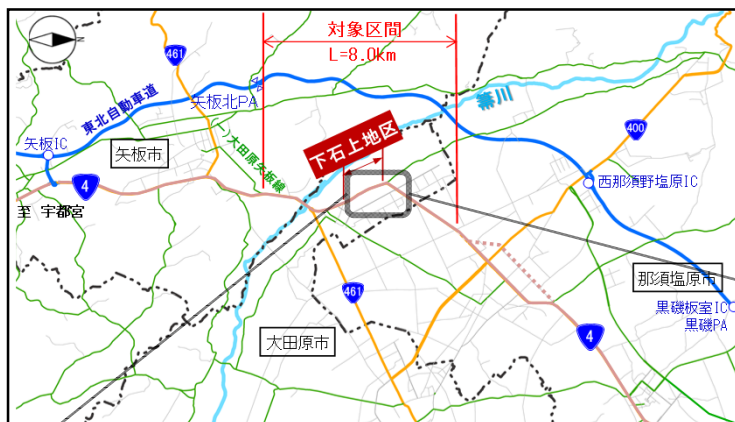


3. 道路交通の状況と課題（交通事故～児童の通学～）

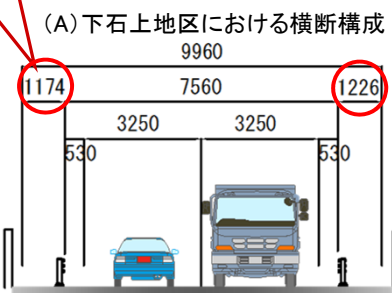
8

○ ^{おおたわら}大田原市 ^{しもいしがみ}下石上地区の一般国道4号は、通学路として使用されているが歩道が狭く、大型車両の風圧だけでも恐怖を感じるとの声もあり、一部の児童は一般国道4号を使用しないで遠回りさせている。

■沿線小学校



歩道が狭い。



①通学状況



②通学状況(雨天時)



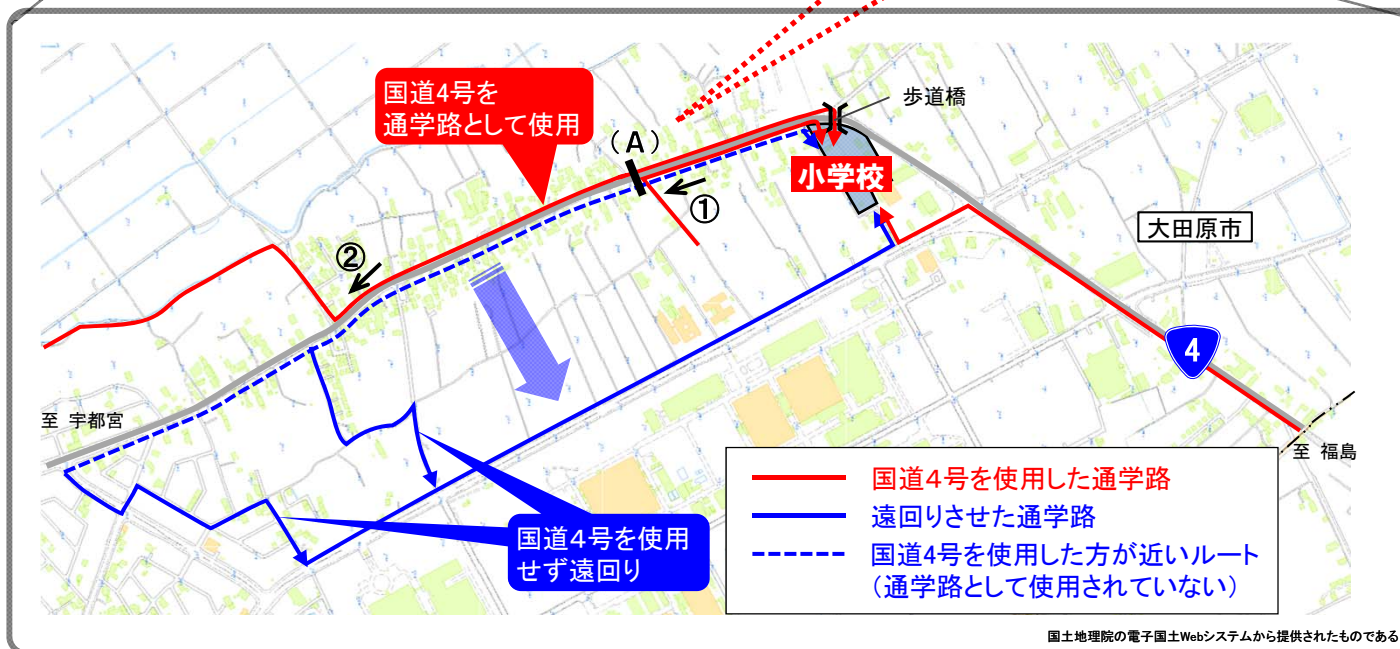
【ドライバー及び地域住民の声】

・下石上は道路が狭いので大型車同士がすれ違う際には危険を感じる。また、通学路であり 小さい子供が通るため、狭い分慎重に走行 している。

H23.1 那須塩原市運送業ヒアリング

・小中学校の通学道路としても 狭幅員の歩道を利用している が、大人でも 大型車両の風圧だけでも恐怖を感じ ている。

H20.11 関係市地域住民による要望書



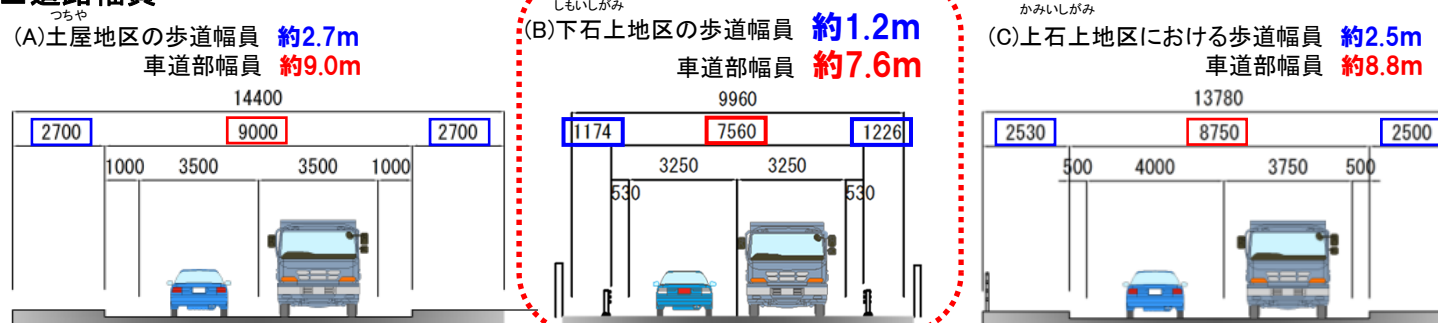
国土地理院の電子国土Webシステムから提供されたものである

3. 道路交通の状況と課題 (交通事故～道路構造～)

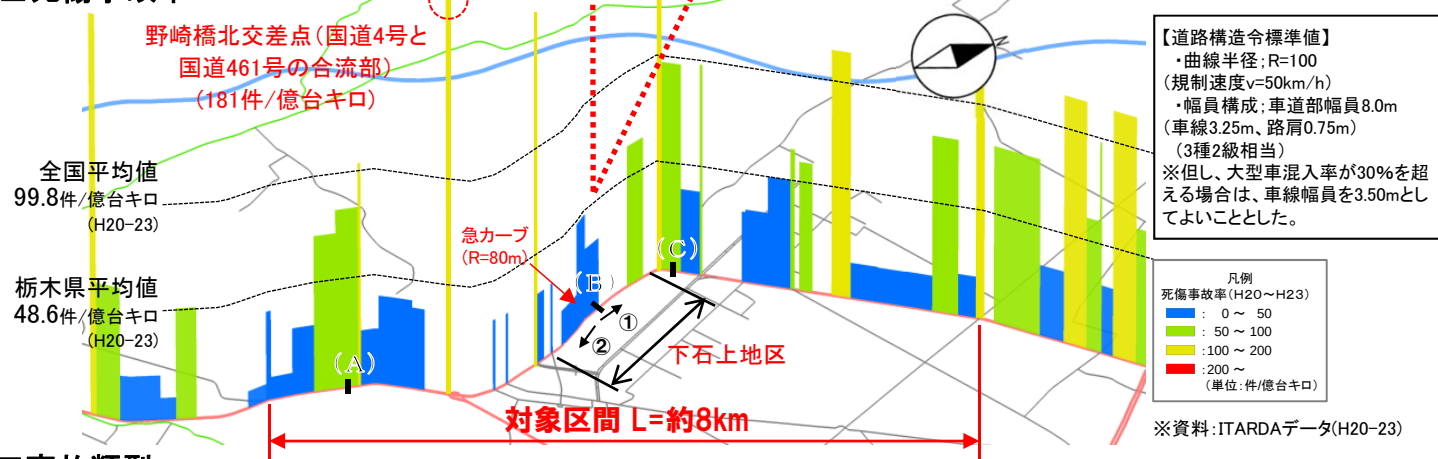
9

- **大田原市下石上地区**の一般国道4号は、**前後の区間と比べて歩道や車道部の幅員が狭く、急カーブ**がある。
 ○対象区間は、全国平均の死傷事故率99.8件/億台キロを上回る箇所(一般国道4号と一般国道461号との合流部:181件/億台キロ)が存在している。
 ○事故類型では、**全国平均と比べて正面衝突が2倍、追突事故が約2.4倍発生**している。

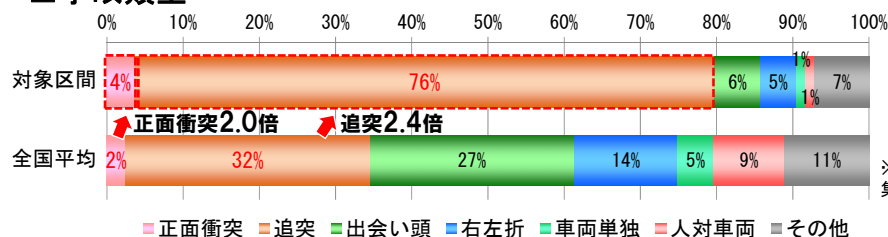
■道路幅員



■死傷事故率



■事故類型



※資料: ITARDAデータ (H20～H23)
 集計対象は「対象区間」は一般国道4号、「全国平均」は全道路。

①急カーブ(R= 80m)



↑下石上地区の急カーブをセンターラインを跨ぎながら走行する大型車。

②大型車すれ違い状況



↑狭幅員区間における大型車同士のすれ違い。

【ドライバーの声】

- ・下石上の住宅地を通る一般国道4号は、道が狭く、急カーブがあるため大型車にとって大変危険。
ドライバーの精神的負担が大きい。

H23.1 那須塩原市運送業ヒアリング

4. 地域の状況と課題（産業～製造業～）

10

- 対象区間沿線には、**県内3位の製造品出荷額を誇る野崎工業団地**があり、製造業が盛んな地域である。
- 野崎工業団地内の企業からは、矢板ICまで一般国道4号で10キロメートル足らずという**好立地にありながらそのメリットを生かせていない、物流の非効率**は製造業にとって致命傷などの声がある。

■矢板～大田原地域における一般国道4号の速度分布図

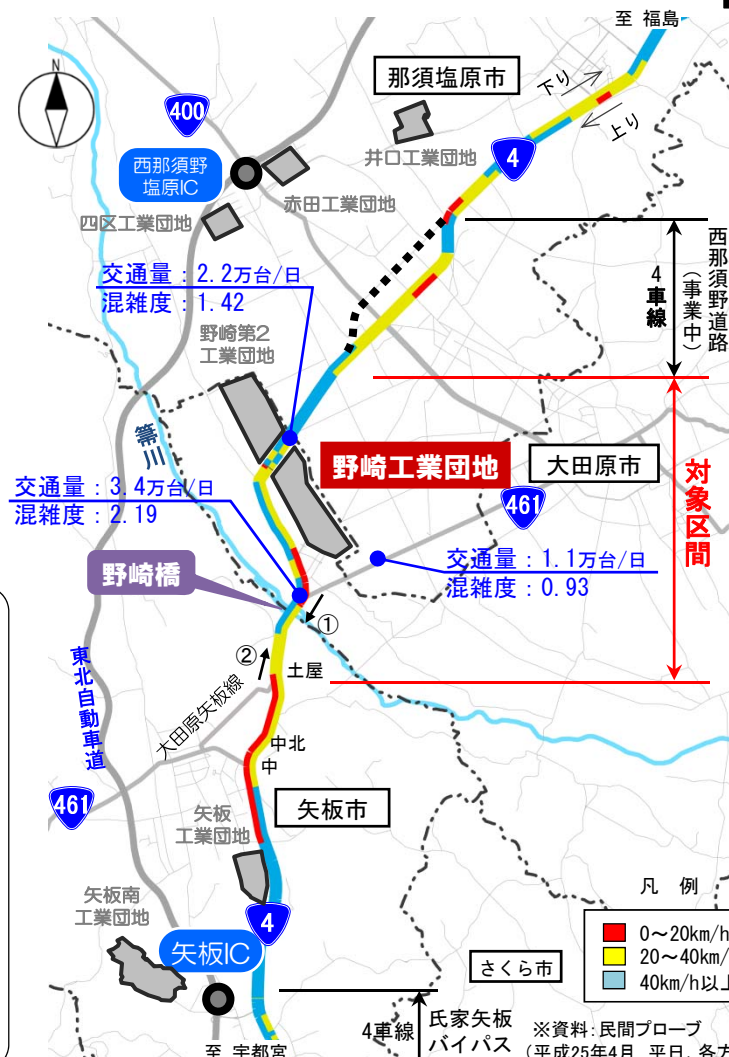
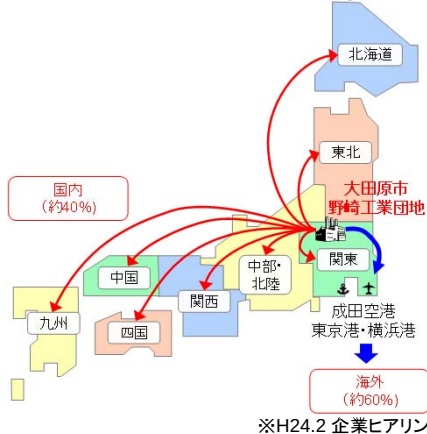
①一般国道4号野崎橋周辺



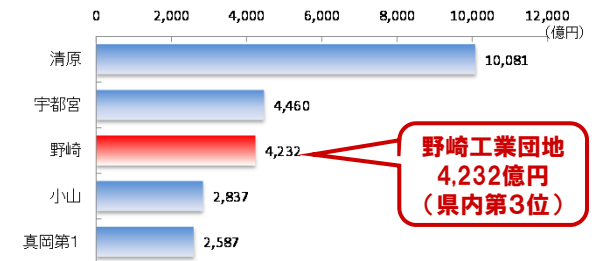
②一般国道4号土屋付近



・工業団地内メーカーの出荷先事例



■栃木県内の工業団地別製造品出荷額(上位5位)



資料：栃木県「栃木県の工業（平成22年工業統計調査結果報告書）」



【地域企業の声】

- ・矢板ICまで一般国道4号で10キロメートル足らずという**好立地にありながらそのメリットを生かせていない。**
- ・栃木県北部地域における一般国道4号は、大半が2車線のままで、**整備が進んだ地域に比べ大きな格差**が生じてきている。
- ・厳しい国際競争に勝ち残っていくうえで、**物流の非効率は我々製造業にとって致命傷**ともなりかねない深刻な課題。

H20.8 野崎工業団地連絡協議会等要望

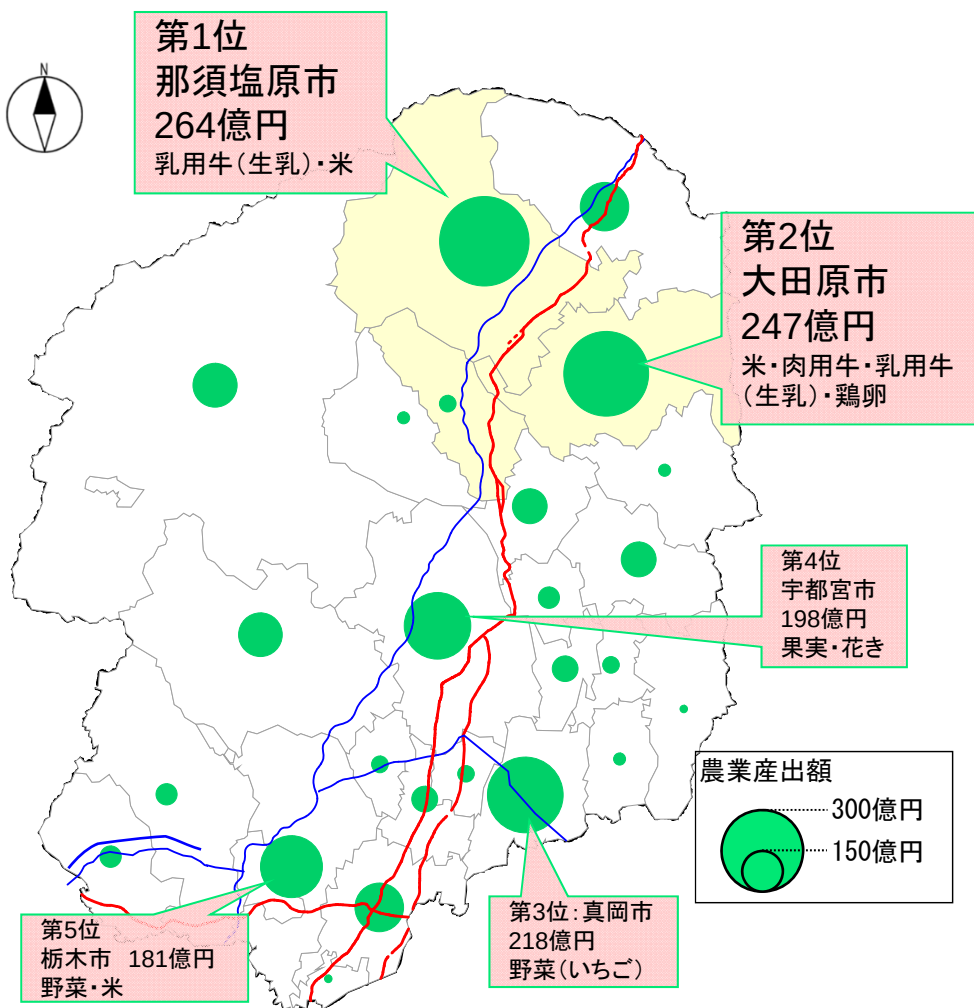
4. 地域の状況と課題（産業～農業～）

11

○県北地域は畜産を中心とした農業が盛んであり、農業産出額は那須塩原市が県内第1位、大田原市が県内第2位である。

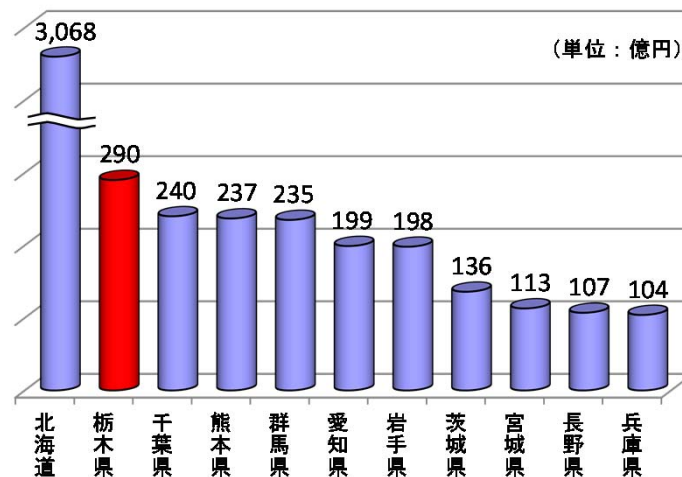
○栃木県の生乳産出額は全国第2位。那須塩原市・那須町など県北地域で県内生産量の6割強を占めている。

■栃木県内市町別の農業産出額(上位5市町の県内シェアの高い産物)



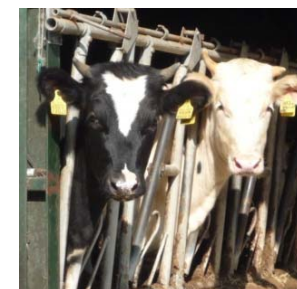
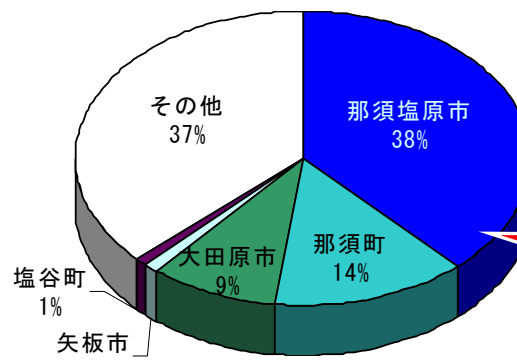
資料: 農水省「平成18年市町村別生産農業所得統計表」

■生乳産出額の上位10都道府県



資料: 農水省「平成23年生産農業所得統計」

■生乳産出額の県内の内訳



本州第1位
(全国第4位)

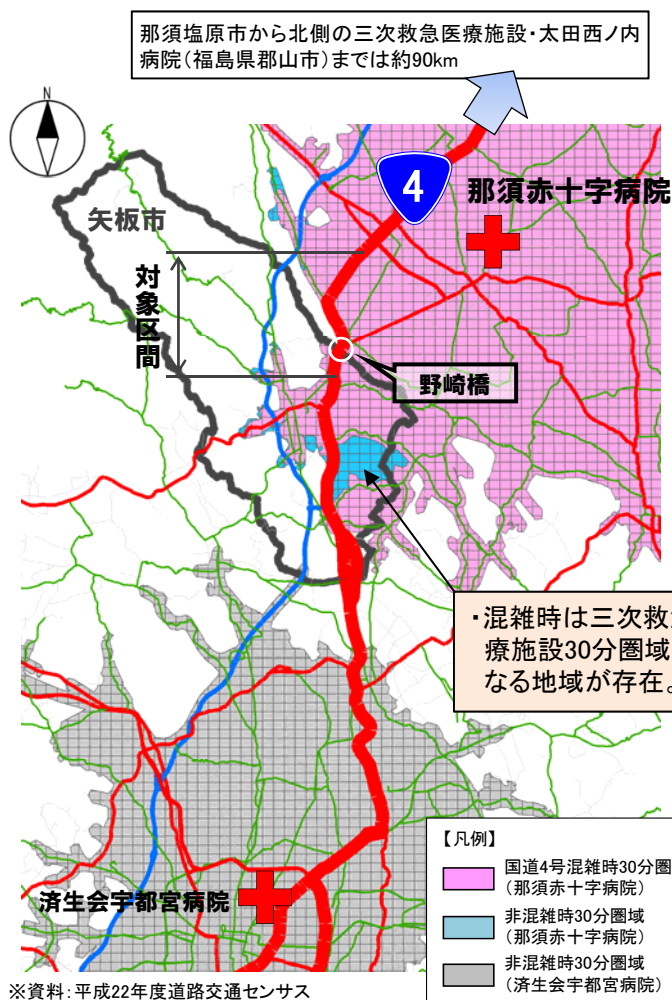
資料: 農水省「平成18年生産農業所得統計」

4. 地域の状況と課題（医療）

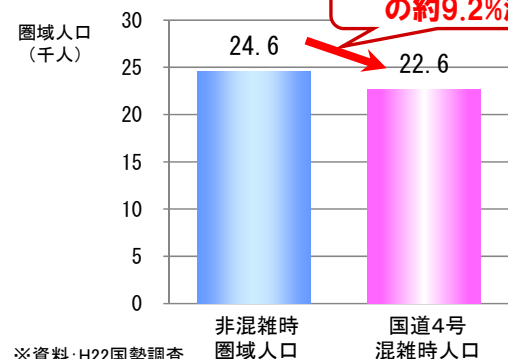
12

- 県北地域唯一の三次救急医療施設である「^{なす}那須赤十字病院」など、^{やいた}県北地域の3医療施設への救急搬送件数が過去5年間で約1.2倍に増加。矢板市からの搬送経路として基本的に一般国道4号^{のさき}野崎橋を利用。
- 一般国道4号混雑時の矢板市における三次救急医療施設30分圏域の人口は、非混雑時より約9.2%減少。混雑時は30分圏域外となる地域が存在。

■^{なす}那須赤十字病院30分カバー圏域



■^{やいた}矢板市内三次救急医療施設30分圏域人口



①一般国道4号 野崎橋～土屋間の状況

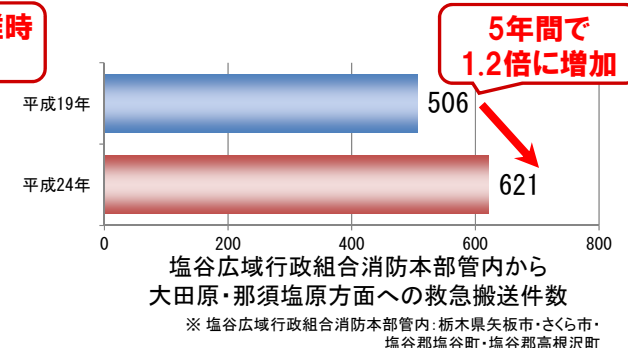


【救急隊の声】

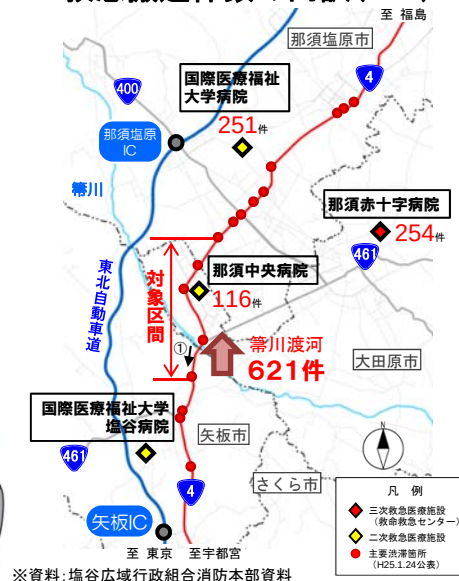
- ・救急搬送時は基本的には一般国道4号を利用している。
- ・矢板IC以北は、片側1車線のため、混雑していると追い越しが出来ず、救助現場までの到達時間に影響がでる・・・。

H23.2 塩谷広域行政組合消防本部ヒアリング

■^{おおたわ}大田原・^{なすしおばら}那須塩原方面への救急搬送件数



■^{おおたわ}大田原・^{なすしおばら}那須塩原方面への救急搬送件数の内訳（H24）



6. 地域に配慮すべき事項（自然環境等）

14

○既存文献から重要な動植物等が分布。



矢板市山田地区のチョウゲンボウ繁殖地（県指定天然記念物）



■ 矢板市山田地区の繁殖地は、箒川の右岸に発達した段丘にあり、国道4号の箒川にかかる野崎橋並びに東北本線鉄橋の上流100mに位置する「びょうぶ岩」及びその上流200mに位置する「金和崎岩」（それぞれ高さ約30m、幅約250m）である。これらの崖にヤマセミの古巣及び1975年に作られた3カ所の人口巣穴があり、1985年以来、ほぼ毎年4つがいの繁殖が確認されている。

出典：県指定文化財（史跡、天然記念物） - 栃木県矢板市公式Web-

八坂神社のスギ（市指定天然記念物）

- 樹齢 約500年
- 幹囲 南側4.55m 北側2.72m
- このスギは3本が合体したスギで、現存しているのは北側と南側のスギである。西側のスギは枯死したため伐採されている。水田の中にある古木で目に付く。日当たり等の環境も良好である。歴史と風格をもっている。



出典：市指定文化財（史跡、天然記念物） - 栃木県矢板市公式Web-

荒井家のカヤ（市指定天然記念物）

- 樹齢 約300年
- 幹囲 3.27m
- 樹高 22.0m
- 枝張り 東西17.3m 南北17.4m
- 承応3甲午年3月、領主奥平公が領内に苗木を配布、栽植を命じたものである。



出典：市指定文化財（史跡、天然記念物） - 栃木県矢板市公式Web-

■ 動物

■ 周辺で確認されている希少種として、オオタカ（環境省：準絶滅危惧、栃木県：準絶滅危惧）、フクロウ（環境省：準絶滅危惧、栃木県：準絶滅危惧）、コハクチョウ（栃木県：準絶滅危惧）、オオムラサキ（環境省：準絶滅危惧、栃木県：要注目）などが報告されている。

出典：栃木県自然環境基礎調査 とちぎの鳥類
 栃木県自然環境基礎調査 とちぎの昆虫
 レッドデータブックとちぎ - 栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生動植物-

7. 政策目標の素案（道路交通・地域の課題とその原因）

15

		課 題	原 因	政策目標の素案
道路について	交通	・一般国道4号の混雑 ⇒ネットワークが集中する野崎橋付近は、交通量が340百台/日と2車線の交通容量を上回り、混雑度は2.19と高い(H22センサス)。 ⇒下り線では大田原矢板線の合流箇所、上り線では国道461号の合流箇所がボトルネックとなり、朝夕ピーク時に速度低下が発生。	・一般国道4号に交通が集中 ⇒野崎橋は近隣の橋との距離が離れているため交通が集中。 ⇒2車線の容量を上回る交通量が流入。	1. 混雑の緩和
	リダンダンシー	・野崎橋が寸断した場合に広域な迂回が生じる ⇒平成10年8月の大雨災害では、野崎橋が5日間通行止めとなり、一般国道4号の交通機能が寸断。 ⇒平成23年3月の東日本大震災発生直後、東北自動車道は約2週間通行規制し、一般国道4号は代替路として機能したものの、交通が集中し、速度低下が発生。	・一般国道4号渡河部の近隣に緊急輸送道路がない ⇒一般国道4号の代替路となりうる一般道の緊急輸送道路が近隣にない。	2. 災害に強い緊急輸送道路の確保
	沿道環境	・沿道環境が悪い ⇒一般国道4号下石上地区は、昼夜間ともに要請限度を超過。 ⇒騒音レベルが栃木県内の直轄国道でワースト1位。 ⇒排気ガスやエンジン音などによる健康被害なども心配との声あり。	・大型車交通が多い ⇒家屋連担地域への大型車交通の流入(大型車混入率は全国平均の約2.1倍)。	3. 沿道環境の改善
	事故	・交通事故への危惧 ⇒死傷事故率は全国平均を上回る箇所が存在。 ⇒下石上地区は、道路幅員が狭く急カーブがある区間を、多くの大型車が通行しているが、狭い歩道を通学路として使用しており、大型車の風圧だけでも恐怖を感じているとの声あり。	・道路構造上の問題 ⇒急カーブ・狭い歩道幅員・狭い車道部幅員区間の存在。(対向車線へのはみ出し)	4. 安全・安心な生活空間の確保
地域について	産業	・物流の効率が悪い ⇒大田原市の一般国道4号沿線には野崎工業団地(県内第3位の出荷額)があるなど製造業が盛んな地域。また、農業も盛ん。 ⇒野崎工業団地内の企業からは、矢板ICまで好立地にありながらそのメリットを生かせていない、物流の非効率性は製造業にとって致命傷などの声あり。	・一般国道4号の旅行速度が低い ⇒野崎橋への交通集中。 ⇒2車線の容量を上回る交通量の流入により、旅行速度が低い。	5. 物流の効率化
	医療	・救急医療施設への速達性に劣る ⇒一般国道4号混雑時の矢板市における三次救急医療施設30分圏域の人口は、非混雑時より約9.2%減少。混雑時は30分圏域外となる地域が存在。	・一般国道4号の旅行速度が低い ⇒県北地域唯一の三次救急医療施設へは、矢板市からの搬送経路として、基本的に一般国道4号の野崎橋を利用。 ⇒搬送経路には、主要渋滞箇所が存在。	6. 救急医療施設への搬送時間の短縮
	地域に配慮すべき事項(自然環境等)	・自然環境等の保全 ⇒一般国道4号周辺の自然環境等の保全。	・重要な動植物等の分布 ⇒既存文献より一般国道4号周辺に重要な動植物等が分布。	

8. 政策目標の素案と地域の将来像との整合

16

栃木県の総合計画等

栃木県重点戦略 「新とちぎ元氣プラン」 (H23.2)	主要施策(抜粋)
【暮らしを支える安心戦略】	元気で健やかな暮らし実現プロジェクト ・限られた医療資源を有効に活用するため、 救急医療等の様々な医療体制において医療機関の機能分担や連携を進める。 【医療】
	日々の暮らしの安全・安心実現プロジェクト ・消費生活の安全・安心が確保され、犯罪や 交通事故などの不安を感じることなく日々の暮らしを送ることができる環境をつくる。 【事故】
【明日を拓く成長戦略】	パワーアップとちぎプロジェクト ・ 本県の成長を牽引し、雇用を創出する産業を振興するとともに、競争力のある中小企業の活動や農業の展開などを支援し、県内経済の活性化を図る。 ・企業ニーズに対応した魅力ある 産業団地の提供やアクセス道路の整備等により、企業の立地環境の向上を図る。 【産業】
【未来につなぐ環境戦略】	環境を起点とする活力の創出プロジェクト ・生産、流通、販売などの事業活動のあらゆる過程において、二酸化炭素排出削減等、 事業者による環境への負荷を減らす取り組みを促進する。 ・人と自然が共生するとちぎの実現プロジェクト ・本県の 豊かで優れた自然環境を守り育てながら、その恵みを貴重な財産として次の世代に引き継ぎ、人と自然が共生するとちぎを実現します。 【環境】

栃木県 「人にやさしい県土60分構想」 (H23.3)	主要施策(抜粋)
【暮らしの「安全安心」を支える交通網の整備】	・子どもから高齢者まで県民誰もが、都市部や農山村部など、 どこに住んでいても安全に安心して移動できるよう、日常生活を支える交通網の整備を推進する。 【リダンダンシー】【交通】
【とちぎの「活力成長」を生み出す交通網の整備】	・ 産業の国際競争力の強化や国際観光の振興による、豊かで活力と魅力あふれる地域の形成を支える交通網の整備を推進する。 【産業】
【とちぎの「人や環境」にやさしい交通網の整備】	・ 自動車からの二酸化炭素の排出を抑制するため、渋滞対策による交通の円滑化や交通需要マネジメントの導入をすすめる。 ・ 自然環境と共生した人や環境にやさしい交通網の整備を推進する。 【環境】

各市の総合計画等

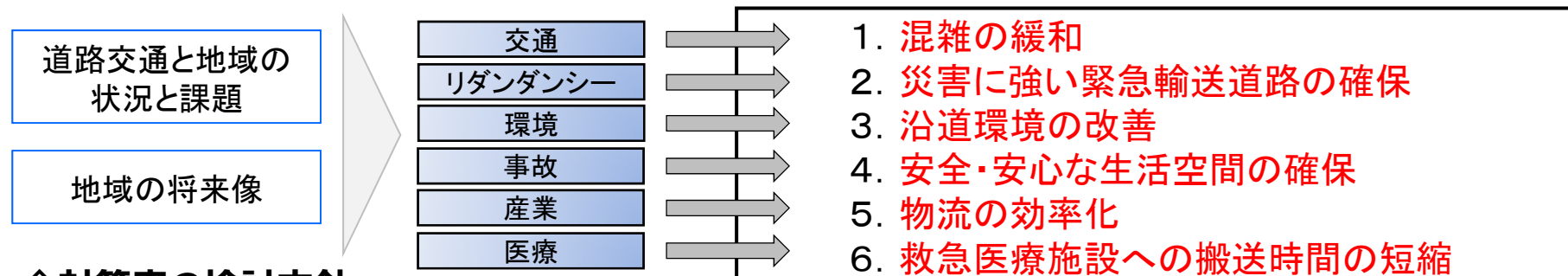
【矢板市】 第2次21世紀 矢板市総合計画 (H23.3) 前期基本計画 (H23.3)	○安心・安全で快適に暮らせるまちづくり ・市民生活の利便性向上、大都市等との交流基盤強化を図るため、関係機関と連携し広域幹線道路の整備を促進する。 国県道の整備促進・・・国道4号の整備促進【交通】 ・災害時の救急・救助体制確保などにより、救急体制の充実を図る。 【リダンダンシー】【医療】 ・交通危険箇所の整備や交通安全教育の充実などにより、交通の安全対策を推進する。 【事故】 ○豊かな自然を大切にすまちづくり ・環境の保全や循環型社会の構築に向けて、市民・事業者・行政の責務や役割などを明確にして、計画的に取り組む。 【環境】
【大田原市】 大田原市総合計画 新大田原レインボープラン (H19.3) 後期基本計画 (H24.3)	○自然と共生していくまちへ ・豊かな自然環境を市民共有の財産として保全するとともに、地域の良好な生活環境を維持していく。【環境】 ○人にやさしい快適なまちへ ・自動車交通の円滑化を図るとともに、広域交通体系や地域拠点へのアクセス強化を目指す。また、都市計画道路などの幹線街路の整備、拡充により、市街地内や地域間の都市内ネットワークの強化を図る。国道・県道整備の要望活動を行なう。 【交通】【リダンダンシー】 ○安全・安心で市民活動がいきづまちへ ・子どもや高齢者の安全を確保するため歩行者に配慮した交通環境を整備するとともに、道路交通安全施設の充実に努める。 【事故】
【那須塩原市】 第一次 那須塩原市総合計画 (H19.3) 後期基本計画 (H24.3)	○自然と共生するまちづくり ・市内に生息・生育する希少野生動植物種の個体やその生息地・生育地の適切な保護に努める。 【環境】 ○快適で潤いのあるまちづくり ・交通事故の発生を抑制するため、交通安全に対する意識の高揚を図るとともに、交通安全施設の整備・充実を図る。 【事故】 ○健やかに安心して暮らせるまちづくり ・母子保健の充実を図るとともに、感染症予防対策の推進や救急医療体制の充実に努める。 【医療】 ○安全で便利なまちづくり ・都市化の進展や交通量の増加により慢性的に交通渋滞を招いている道路もあるため、幹線道路や交差点とともに、日常生活に密着した道路の改良整備を計画的に進める。 【交通】【リダンダンシー】

9. 政策目標の案（整備方針の検討）

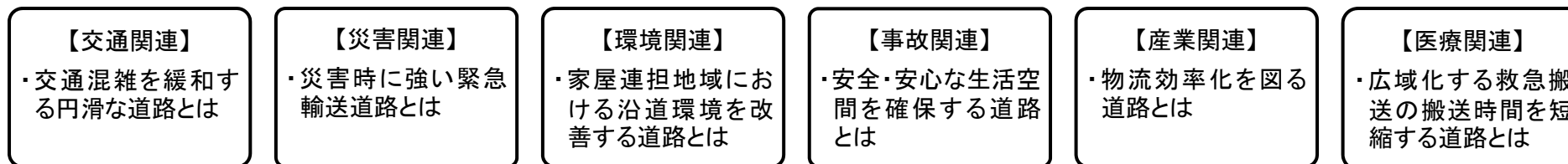
17

◆現道の課題を解消するための整備方針を検討。

◇課題を早期に解消する政策目標の案を設定



◇対策案の検討方針



当該地域に求められるサービスとは

- ① 交通量に対応した交通容量を確保し、混雑緩和
- ② 碕川渡河部の道路ネットワークを強化
- ③ 家屋連担地域における沿道環境を改善
- ④ 安全・安心な生活空間を確保
- ⑤ 混雑緩和により旅行速度の向上を図り、物流を効率化
- ⑥ 旅行速度の向上により、第三次救急医療施設への搬送時間を短縮

道路交通の現状と課題を解決し、地域の将来像を実現する複数案を設定し比較検討

10. 地域からの意見聴取方法（聴取内容等）

18

以下のとおり地域からの意見聴取を実施。

1. 意見聴取（1回目）の内容

意見聴取の項目	意見聴取の内容	回答方法
① 課題について	道路交通及び地域にどのような課題があるか	選択式（複数）
	提示した課題の他に、考えられる課題はあるか	自由回答
② 政策目標の案について	提示した政策目標の案で、どの項目が重要だと思うか	選択式（複数）
	提示した政策目標の案の他に、考えられる政策目標はあるか	自由回答
③ 道路整備の必要性について	道路整備の必要性があると思うか思わないか	選択式（1つ）
④ 検討にあたって 配慮すべき事項等	“③”で選択した項目に対しての自由意見	自由回答

10. 地域からの意見聴取方法（意見聴取の対象者と方法等）

19

2. 対象者・意見聴取の方法

意向調査				
住民	やいた 矢板市		13,023 世帯	合計 約80,151世帯 全戸配布 ※世帯数は、H25.8.1現在住民基本台帳
	おおたわら 大田原市	(旧大田原市)	21,365世帯	
	なすしおぼら 那須塩原市		45,763世帯	
留置き	周辺市町の市役所・町役場	やいた おおたわら なすしおぼら なす 矢板市、大田原市、那須塩原市、さくら市、那須町	[5箇所]	
	周辺市町の道の駅	やいた おおたわら なすしおぼら なす 矢板市(1)、大田原市(1)、那須塩原市(3)、那須町(2)	[7箇所]	
Web	国のホームページにWebページを設け、県及び市のホームページにリンクバナーを掲載。			
関係団体	○野崎工業団地等の周辺工業団地 会員企業 [108社] ○トラック協会 [110社]			
ヒアリング調査				
関係団体	○教育機関(沿線小・中学校) [3校] ○工業団地連絡協議会 [2団体] ○トラック協会 [7団体] ○経済団体 [10団体] ○農業協同組合 [2団体] ○消防本部 [3団体] ○自治会 [2団体]			

3. 地域への情報提供方法

- ◇自治体ホームページバナー、ポスター、チラシ、回覧板、新聞広告等で幅広く広報を実施

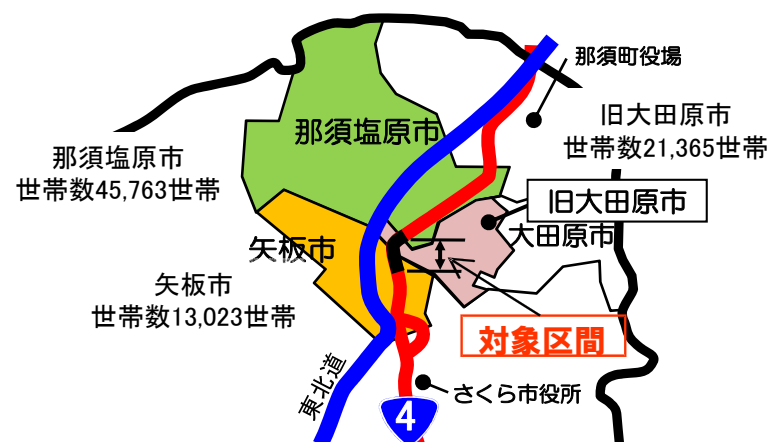
4. 意見聴取期間

- ◇1ヶ月程度

5. 実施主体

- ◇国土交通省宇都宮国道事務所

■意向調査(住民)対象地域



※世帯数は、H25.8.1現在住民基本台帳

10. 地域からの意見聴取方法 (意見聴取案<1/4>)

20

6. 配布資料・質問票案

■第1回意見聴取における調査方法および質問内容

①調査概要

⇒本調査の趣旨・調査対象箇所の提示・
今後の手続きの流れ

②一般国道4号(栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間)の現状

⇒一般国道4号における道路交通及び地域の課題の提示

地域のみちづくりに皆さまの声をお聞かせ下さい。

一般国道4号 栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間の計画検討に関する地域の意見聴取(第1回)

一般国道4号は、東京都中央区の日橋を起点とし、青森県青森市に至る国内最長で関東と東北とを結ぶ大動脈・主要幹線道路です。
この地域の意見聴取は、栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間の道路整備の計画検討にあたり、皆様のご意見をお聞きする調査を行いますので、ご協力をお願い致します。
今回は、地域の皆様が日々感じている地域の課題などについてご意見をお伺い致します。
※ 本調査で頂いた皆様からのご意見は、計画段階評価*において地域の意見として「社会資本整備審議会道路分科会 関東地方小委員会」に報告致します。

***計画段階評価とは**
公共事業の実施過程の透明性を一層向上させる観点から、地域の皆様の声を聞きながら、計画段階において事業評価を行う新しい取り組みです。

計画段階評価
地域の意見聴取等
今回はここです
関東地方小委員会
新規事業採択時評価
事業化

関東地方小委員会の資料等は、国土交通省関東地方整備局のホームページでご覧いただけます。
関東地方整備局URL
<https://www.ktr.mhl.go.jp/road/shinshu/index0000015.html>

お問い合わせ先
国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所 調査課
TEL 028-638-2185(直通)

一般国道4号 栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間における“課題”と、課題を解決するための“目標”を以下のように考えました

とちぎ やいた おおたわら なすしおばら

課題 1 一般国道4号の混雑

一般国道4号に大田原矢板線及び一般国道461号が合流する野崎橋付近に交通が集中し、朝夕に速度低下が発生しています。

目標 1 混雑の緩和

課題 2 野崎橋が寸断した場合に広域な迂回が生じる

一般国道4号の代替路となりうる一般道の緊急輸送道路が近隣にありません。野崎橋が5日間通行止めとなり、広域な迂回を余儀なくされました。東日本大震災時は、一般国道4号が通行止めとなった東北道の代替路となり、速度低下が発生しました。

目標 2 災害に強い緊急輸送道路の確保

【野崎橋の被災状況】
平成10年8月豪雨で、5日間全面通行止め

課題 3 沿道環境が悪い

一般国道4号の大田原市下石上地区は、歩道や車道が狭く沿道に住宅が立ち並んでいますが、大型車が多く走行し、騒音が原因です。排水ガス、エンジン音による健康被害を心配する声もあります。

目標 3 沿道環境の改善

【下石上地区における横断構成(道路断面A)】
【夜間的大型車交通】 【下石上地区の大型車】

課題 4 交通事故への危機

一般国道4号の大田原市下石上地区において、歩道や車道が狭く急カーブがある区間を、多くの大型車が通行しており、非常に危険な所を過半数として使用されています。大型車両の風圧だけでも恐怖を感じているとの声もあります。

目標 4 安全・安心な生活空間の確保

【下石上地区の通学状況】

課題 5 物流の効率が悪い

野崎工業団地内の企業からは、矢板ICに近く好立地にありながらそのメリットを生かしていない。物流の非効率性は製造業にとって致命傷との声があります。

目標 5 物流の効率化

【野崎橋付近の渋滞】

課題 6 救急医療施設への到達性に劣る

一般国道4号の混雑時は、三次救急医療施設へ30分以内で搬送できる人口が、非混雑時に比べ約1割減少します。

目標 6 救急医療施設への搬送時間の短縮

【矢板市における三次救急医療施設(那須赤十字病院)30分圏内人口】

搬送時は非混雑時の約1割減

10. 地域からの意見聴取方法（意見聴取案＜2／4＞）

21

■第1回意見聴取における調査方法および質問内容

③質問票

【住民・留置き】

- ⇒○ 道路交通や地域の課題
- 課題を解決するための政策目標の案
- 道路整備の必要性等を確認

質問票

※栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間における一般国道4号の課題や政策目標について伺います。

質問① 利用頻度

国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間の利用頻度についてあてはまる番号を1つ選び、はがきの回答欄の□にチェックをつけて下さい。

1	毎日	4	(ほとんど利用したことがない)
2	週に数回程度	5	利用したことがない
3	月に数回程度		

質問② 国道4号の移動手段

矢板市～大田原市～那須塩原市間の国道4号を通行する際の主な移動手段についてあてはまる番号を全て選び、はがきの回答欄の□にチェックをつけて下さい。(複数回答可)

1	自動車	4	自転車
2	公共交通 (バス、タクシー)	5	徒歩
3	バイク		

質問③ 利用目的

国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間の主な利用目的についてあてはまる番号を全て選び、はがきの回答欄の□にチェックをつけて下さい。(複数回答可)

1	通勤・通学	3	私用 (日常的な買物・食事等)
2	仕事(営業・運送等)	4	その他 ()

質問④ 周辺地域の課題

国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間周辺地域にはどのような課題があると思いますか？あてはまる番号を全て選び、はがきの回答欄の□にチェックをつけて下さい。

また、1～6の他に、重要と思われる課題があれば、その他の欄にご記入ください。(複数回答可)

1	一般国道4号の混雑
2	野崎橋が寸断した場合に広域な迂回が生じる
3	沿道環境が悪い
4	交通事故への危惧
5	物流の効率が悪い
6	救急医療施設への到達性に劣る
7	課題はない
8	その他 ()

質問⑤ 課題を解決するための目標

国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間周辺地域の課題を解決するための政策目標として、どの項目が重要だと思いますか？重要だと思う番号を全て選び、はがきの回答欄の□にチェックをつけて下さい。

また、1～6の他に、課題を解決するための目標があれば、その他の欄にご記入ください。(複数回答可)

1	混雑の緩和
2	災害に強い緊急輸送道路の確保
3	沿道環境の改善
4	安全・安心な生活空間の確保
5	物流の効率化
6	救急医療施設への搬送時間の短縮
7	その他 ()

質問⑥ 道路整備の必要性

国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間に道路整備は必要だと思いますか。あてはまる番号を1つ選び、はがきの回答欄の□にチェックをつけて下さい。

1	必要だと思う	質問⑦、⑨へ ↓
2	どちらかと言うと必要だと思う	質問⑦、⑨へ ↓
3	必要だと思うない	質問⑧、⑨へ ↓
4	どちらかと言うと必要だと思うない	質問⑧、⑨へ ↓
5	どちらとも言えない	質問⑨へ ↓

質問⑦

今後の道路整備の検討にあたって配慮すべき事項があれば、お聞かせ下さい。

質問⑧

必要だと思うない理由についてお聞かせ下さい。

質問⑨

その他ご意見がありましたら聞かせ下さい。

※ハガキは、お近くの郵便ポストへ
平成26年 月 日()までに投函をお願いします。

ご協力ありがとうございました。

10. 地域からの意見聴取方法（意見聴取案＜3／4＞）

22

■第1回意見聴取における調査方法および質問内容

④質問票

【関係団体（工業団地・トラック協会の会員企業）】

- ⇒○ 道路交通や地域の課題
○ 課題を解決するための政策目標の案
○ 道路整備の必要性等を確認

栃木県矢板市～大田原市～那須塩原市間における一般国道4号の道路計画に関する第1回意向調査		質問回答票
【概要説明資料】（別紙）をご覧ください、企業・団体の方々のご意見をお聞かせください。		
●ご記入にあたって ・この調査は普段道路をご利用いただいている企業の方々の意見を広く頂戴するためのものです。 ・本調査票1枚に企業・団体としての意見をご記入ください。 ・回答頂いた結果のうち、特定の企業・団体が識別できる情報は、公表いたしません。		
質問①	国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間の利用頻度についてあてはまる番号を1つ選び、番号に○をつけて下さい。 1. 毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度 4. ほとんど利用したことがない 5. 利用したことがない	
質問②	貴社の業態についてあてはまる番号を1つ選び、番号に○をつけて下さい。選択肢にない場合はその他にご記入ください。 1. 製造業 2. 運輸業 3. 卸売・小売業 4. サービス業 5. その他（ ）	
質問③-1	国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間の主な利用目的についてあてはまる番号を全て選び、番号に○をつけて下さい。 （複数回答可） 選択肢にない場合はその他にご記入ください。 1. 運送（配達含む）（→③-2、③-3にもご回答ください） 2. 営業 3. その他（ ）	
質問③-2	国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間を通行する際の主な積載品目についてあてはまる番号を全て選び、番号に○をつけて下さい。（複数回答可） また、差し支えない範囲で、主に運送している具体的な品名を自由にご記入ください。 【積載品目】 1. 農水産品 2. 林産品 3. 鉱産品 4. 金属機械工業品 5. 化学工業品 6. 軽工業品 7. 雑工業品 8. 排出物 9. 特殊品 10. 分類不能 11. 不明 【具体的な品名】（→ ）	
質問③-1で「運送」と回答した方のみ	質問③-3 主な出荷先についてあてはまる番号を全て選び、番号に○をつけて下さい。（複数回答可） また、それぞれのおおかな内販割合（台数等）を〔 〕内にご記入ください。 さらに、出荷の際に主に利用する高速道路の入口ICを全て選び、番号に○をつけて下さい。（複数回答可） 【出荷先】 1. 栃木県内〔 割〕 2. 茨城県〔 割〕 3. 群馬県〔 割〕 4. 埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県〔 割〕 5. 北海道・東北地方〔 割〕 6. 東海・甲信越地方以西〔 割〕 7. その他（ ）〔 割〕 【入口IC】 1. 矢板IC 2. 西那須野塩原IC 3. 黒磯板室IC 4. 那須IC 5. 那須高原スマートIC 6. その他IC（ ） 7. 国道4号（高速道路を利用しない） 8. 国道4号以外の一般道（高速道路を利用しない）	
質問④	国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間周辺地域にはどのような課題があると思いますか？あてはまる番号を全て選び、番号に○をつけて下さい。 また、1～6の他に、重要と思われる課題があれば、その他の欄にご記入ください。（複数回答可） 1. 一般国道4号の混雑 2. 野崎橋が寸断した場合に広域な迂回が生じる 3. 沿道環境が悪い 4. 交通事故への危機 5. 物流の効率が悪い 6. 救急医療施設への到達性に劣る 7. 課題はない 8. その他（ ）	
質問⑤	国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間周辺地域の課題を解決するための政策目標として、どの項目が重要だと思いますか？重要だと思う番号を全て選び、番号に○をつけて下さい。 また、1～6の他に、課題を解決するための目標があれば、その他の欄にご記入ください。（複数回答可） 1. 混雑の緩和 2. 災害に強い緊急輸送道路の確保 3. 沿道環境の改善 4. 安全・安心な生活空間の確保 5. 物流の効率化 6. 救急医療施設への搬送時間の短縮 7. その他（ ）	
質問⑥	国道4号矢板市～大田原市～那須塩原市間に道路整備は必要だと思いますか。あてはまる番号を1つ選び、番号に○をつけて下さい。 1. 必要だと思う → 質問⑦及び⑨へ 2. どちらかと言うと必要だと思う → 質問⑦及び⑨へ 3. 必要だと思わない → 質問⑧及び⑨へ 4. どちらかと言うと必要だと思わない → 質問⑧及び⑨へ 5. どちらとも言えない → 質問⑨へ	
質問⑦	今後の道路整備の検討にあたって配慮すべき事項があれば、お聞かせ下さい。	
質問⑧	必要だと思わない理由についてお聞かせ下さい。	
質問⑨	その他ご意見がありましたらお聞かせ下さい。（例えば、国道4号の混雑や事故が企業活動に及ぼしている悪影響やその事例など）	
最後に貴社についてお聞きます。それぞれご記入ください。 貴社名（ ） 所在地（ ） ご担当者様 所属（ ） 氏名（ ） 電話番号（ ）		
※このアンケート回投票は平成26年 月 日（ ）までにFAXまたはE-mailにてご返送をお願いします。 FAX: 03-5906-0815 or E-mail: r4kenhoku@yachiyo-eng.co.jp ご協力ありがとうございました。		

10. 地域からの意見聴取方法（意見聴取案＜4／4＞）

23

■第1回意見聴取における調査方法および質問内容

⑤返信用はがき【住民・留置き】

■回答方法

- ・回答は、返信用はがきに記入し、郵便ポストに投函。

（表面）

郵便はがき

料金受取人払郵便

宇都宮東郵便局
承認
9172

平成26年3月
15日まで
(切手不要)

栃木県宇都宮市平松町 504

国土交通省 関東地方整備局
宇都宮国道事務所 調査課 行

ご協力お願いいたします。

あなたについてお聞かせください。

年齢	☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上	性別	男・女
職業	会社員・公務員・自営業・農業 漁業・学生・主婦 その他 ()		
住所	[] 都・道・府・県 [] 市・町・村 地区名 []		
運転免許	☐ あり ☐ なし		

※個人情報同意なく第三者に開示・提供することはありません。
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

回答者属性
を確認

（裏面）

質問	回答欄
①	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5
②	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5
③	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 その他 ()
④	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8 その他 ()
⑤	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 その他 ()
⑥	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5
⑦	
⑧	
⑨	

ご協力ありがとうございました。

11. 今後の計画段階評価手続きの進め方(案)

24

◇ 今後の計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

今回

【H25年11月】

